

# なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう  
天童中部小学校

いちようがくぶ  
いちよう学級

R4. 2. 3

No. 34

## ていねいにくらす

ある朝、いつものように、登校してくる子供たちを迎えるために、教室の電気や加湿器などをつけて待っているとAさんが登校してきました。「おはようございます。」と、私の目を見て、きちんとしたあいさつをすると、Aさんは、教室の前の方へ歩いていき、電気のスイッチを1つ押しました。Aさんは、いつもより教室が暗いと感じたのでしょうか。私は、電気のスイッチが3つあるうち、2つしか押してなかったということにそれで気が付きました。しばらくして、朝の会が始まりました。健康観察をした後に、「だれか、次の教室にこの健康観察簿をもっていってくれますか？」と子供たちに尋ねると、すぐにAさんが席を立て「私が行きます。」と受け取ってくれました。すると、Aさんは、その健康観察簿の表紙がはがれかけていることに気が付きました。私も気が付いてはいましたが、毎日使っているものだから壊れてくるのも仕方ないくらいにしか思っていませんでした。しかし、Aさんは、そこで、「ちょっと待ってて、直さなくちゃ。」とセロハンテープを取りに行き、直してくれました。「あら、ありがとうね。」お礼を言うと、「だって、他に使う人も困っちゃうから。」とお返事が返ってきました。朝のAさんの行動から、自分がなんと慌ただしく生活していたのだろうと考えさせられました。今ここにいない人のことにまで思いをめぐらせて、ていねいにくらしをつくっているAさんです。



ていねいにくらしをつくるということは、密度の濃い時間をつくるということでもありとAさんの姿から考えられることがあります。ローマ字の学習で、yama(やま)という字を練習して、タブレットで読み方を録音するという課題がありました。Aさんの提出したものを後で聞いてみると、「ふ〜じはにっぽんい〜ち〜の〜やま〜♪」となんと音楽の時間に歌っている「ふじ山」の歌が録音されていました。あまりの可愛さに、思わず笑ってしまいました。くらしに何気なく音楽を取り入れ、その時間を豊かなものにできるAさんは本当に素敵です。

しかし、1学期頃は、Aさんは「漢字は苦手だからきらい。黒板に漢字を書かないで。」と担任に話していました。今は違います。黒板に漢字が書かれていると、まずは読んでとみようとしています。きっと、Aさんは、難しいことも前向きに取り組んでいると必ず自分の力になっていくことを経験し、このように変わってきたのではないかと思います。周りの人からほめられたりしたからだけでなく、自分で獲得してきた自信がAさんを前向きにたくましくしてきたのだと思います。

今年度も登校日は30数日となりました。残りのわずかな時間を密度の濃いものとなるよう、ていねいにくらしづくりを心掛けていきたいです。